

わがらの那智駅お散歩マップ

- 🅑 駐車場
- 🚻 トイレ
- 🍴 食事処
- 🏠 宿所
- 🛒 コンビニエンスストア
- 🌋 温泉
- 🚶 道の駅
- 📶 Wi-fi
- 🚰 避難所
- 📍 熊野古道大辺路

※「わがら」とは、紀南地方の方言で「私たち」の意味です。

Column 3

熊野那智世界遺産情報センター

那智駅に隣接する施設で、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に関する資料館、「日本におけるサッカー普及活動に貢献した中村寛之助氏の資料コーナー、そして日帰り温泉と休憩所を併設しています。紀伊山地の霊場と参詣道に関する資料館は大スクリーン、補陀落渡海再現シオラマ、白装束の巡礼者模型や巡礼年表などが備えられており、内容が非常に充実しています。資料館は入場無料、日帰り温泉は有料です。それぞれ営業時間が異なるため、下記QRコードでご確認をお願いいたします。



Column 2

世界遺産 補陀落上寺

868年から1722年までの間行われていた補陀落渡海は、このお寺前の浜から出発していました。(現在の浜は300mほど離れている)境内には補陀落渡海の際に使われていた渡海船が再現されたものが保管されています。御本尊の千手観音立像は、国の重要文化財となっています。2004年7月、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産登録されました。



Column 1 くまのさんしょおみわやしろ 熊野三所大神社

かつては目の前が那智の浜であったため、「渚の宮」との別称がありました。熊野三山詣での巡礼者は、ここで潮垢離をし、身を清めて那智山へと向かいました。境内入り口には、樹齢800年とされるクスの巨木が見られます。この周辺で踊られている「浜の宮権踊り」は、県指定無形民俗文化財に登録されています。



了心禅寺

境内には、紀州出身の僧侶、徳本上人の名号碑が建っているよ。また、大きなコブのあるセンダングサの木がひときわ目立っている!



この山道は、城跡を利用して津波避難路として整備されている。

勝山城跡

浜の宮王子 熊野三所大神社

補陀落上寺

ピストロ・ボヌール

ソメイヨシノ並木

アメリカマツ並木
元は防風林として植えられていたもの。高さ20m近いアメリカマツの並木はひときわ目を引くよ。松ぼっくりまでも大きい

ヘリポート

那智漁港

農産物直売所
地元産物、特産品などの販売があるよ。

道の駅なち

世界遺産情報センター
日帰り温泉「丹敷の湯」

那智駅

那智駅は、熊野那智大社をモチーフにした外観だよ。駅前には、「日本サッカーの始祖」と言われる中村寛之助頭影の碑が建っている。



地下道
駅からこの地下道でブルービーチ那智に出られる。

渡海上人の墓
津波避難路を登ると、過去に補陀落渡海に出た僧侶の墓、平維盛の供養塔が安置されている。ここから少し上がったところには非常時物資準備倉庫があり、地域住民の津波一時避難場所に指定されている。

ふりわけいし 振り分け石
補陀落上寺の南東脇に立つこの石碑は、熊野古道の大辺路、中辺路、伊勢路の分岐を示す役割を果たしていたとされている。ここから那智の滝のある熊野那智大社、那智山青岸渡寺までは、西へ約7km歩く。北の方角へ進めば、15kmほどで新宮の速玉大社にたどり着き、その先は熊野川を渡って三重県内の熊野古道伊勢路へと入っていく。



smart cafe (Wi-Fiあり)

喫茶にしき

Column 4

ブルービーチ那智

那智駅から地下道を歩いてすぐの海岸、那智の浜は南紀エリア屈指の美しく、心地よい海岸です。現在は海水浴場もあり、夏はもちろん、それ以外の時期も散策する人たちが賑わっています。この海岸の歴史は古く、1000年以上前から補陀落渡海という、海の彼方に存在する極楽浄土を目指し、僧侶が渡海船に乗ってこの海岸から旅立っていきました。現在は遊歩道が整備されており、那智漁港から、「ブルービーチ那智」を経て、岬の反対側の「お蛇浦」まで通じて散策することができます。(遊歩道は当マップ、紀伊天満駅マップ、紀伊勝浦駅マップにわたっております)

